

広報用



高齢者の新しい可能性に 目を向けてみませんか

UP! デジタル端末機器操作の得意な高齢者が増えています

現代社会の抱える労働問題

少子高齢化等による労働人口減少や業種・職種による求職者の偏りの問題と、それにともなう人手不足による業務量の増加等の問題。
定年退職によるIT技術者の急激な減少と既存システムの老朽化等による損失の影響。

2025年の崖 問題

労働人口の減少と人手不足の問題

長時間労働の問題

考えられる対応策は？

人手不足対応と業務の効率化
をすすめるデジタル化の推進



DX(デジタルトランスフォーメーション)化への取組み

IT化

IT技術で業務の効率化

IoTの仕組みづくり

モノにインターネットを
つなげて活用

ICT(情報通信技術)の導入

デジタル技術でコミュニケーション
活性化

**高齢者の就業推進
による人材確保**

デジタル化業務に高齢者のパワーを！

総務省 情報通信白書(令和3年)によると、60～69歳で7割以上の高齢者がスマートフォンやタブレットを使用している状況となっています。

事業所のデジタル化実現の一助として、高齢者の働きも再考してみたいかがでしょうか。システムエンジニアのような仕事を担うことは難しくても、端末機器を使ってシステム運用の一員として役割を担えるかもしれません。

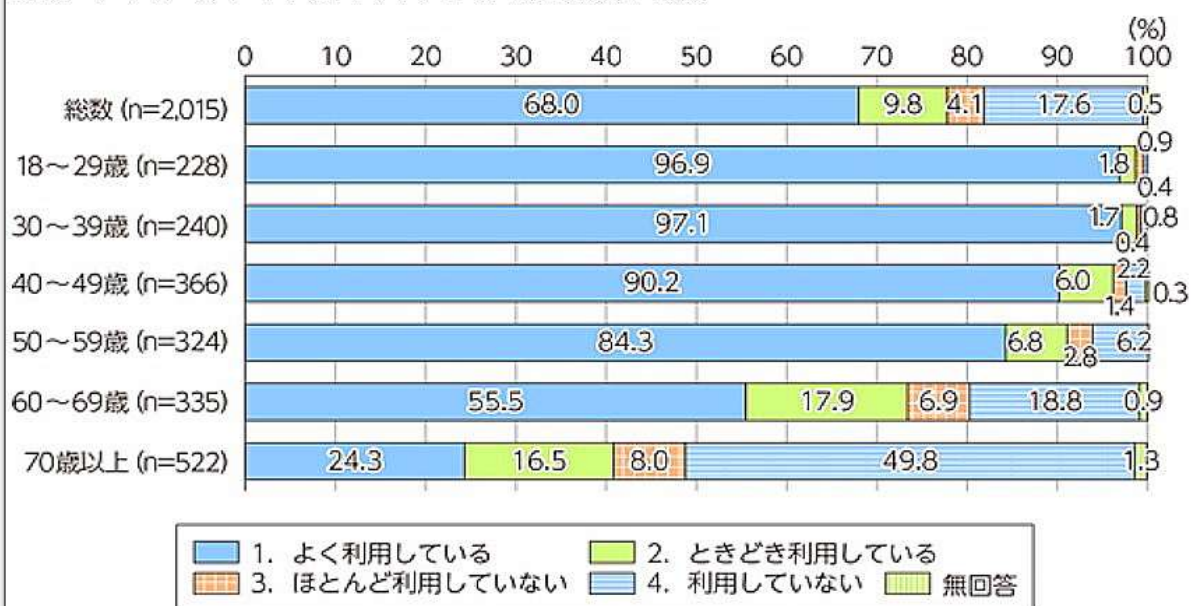


年齢別のデジタル端末機器(スマートフォンやタブレットの利用状況

総務省 情報通信白書(令和3年)によると年齢別のデジタル端末、スマートフォンやタブレットの利用状況では18～49歳で9割以上、50～59歳は8割以上の利用率となっています。

60歳以上の高齢者では70歳以上が約4割の利用となっていますが、60～69歳では7割以上の利用率となり、デジタル端末機器に慣れ親しんでいる高齢者が多い状況にあります。

図表1-1-4-11 スマートフォンやタブレットの利用状況(年齢別)



(出典)内閣府(2020)「情報通信機器の利活用に関する世論調査」を基に総務省作成

総務省 令和3年 情報通信白書より